

学校教育目標	豊かに学び、たくましく生きる松岡っ子の育成
育成を目指す資質・能力	自己の考えを表現し、協働的に解決しようとする力の育成

	学力状況について	学習状況について
児童生徒の課題	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 【国語】・語彙力が少ない ・文章の意図がつかめない 【算数】・文章の意図がつかめない ・算数用語の意味理解・関係性の理解ができていない	各種学力調査の分析結果から明らかになった課題 ・読書量と質の不足 ・生活体験が学習内容に結び付いていない
	これまでの学力向上の取組に対する児童生徒の状況(授業及び授業以外の側面から) ・授業の中で、自分の考えを書く時間や発表する機会を保障したり、個に応じた指導や補充学習をしたりすることにより、基礎基本の定着を図った。相手や目的を意識した文章を書く力が弱い。 ・単元末テストの結果、各学年において4教科とも平均正答率は70%を超えている。理科、社会の「知識・技能」の観点において、3年生以上で平均点が70点以上の児童は、85%を超えている。「思考・判断・表現」においては、どの学年も算数の平均正答率が低い。	
指導の状況	1 組織的な授業改善の取組状況 ・校内研修を実施することで、効果的な授業展開の仕方を学ぶことができています。 ・進度や教材をそろえて指導した。 ・家庭学習の手引きを配布して児童へ指導するとともに、懇談会時や学年通信を通して、保護者にも活用を促している。 ・検証授業、互見授業を通して授業改善に努める。 2 その他の学力向上に向けた指導の取組状況 ・視写や授業の振り返り、週末の課題日記などで、条件を加えた書く活動を取り入れた。 ・「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」を毎時間位置付けるようにしている。 ・児童アンケートで「書く力がついた」と肯定的に評価している児童は90%程いるが、教師側は苦手意識をもっている児童が多いと感じており、教材研究し学年で指導の仕方を工夫していく。	

学力に関する達成指標

- ・授業で友達と積極的に話し合える子どもの割合・・・90%
- ・「課題」に対して自分の考えをノートに書いたり、発表したりすることができる子ども割合・・・90%
- ・「家庭学習の手引き」を活用して家庭学習の充実を図っている。・・・90%

